

ついては、従来越中富山の葉種屋権七・肥前田代の井丸屋順平・摂州梶原村の辻本儀右衛門の三人に領内販売を許可していたが、これを禁止し、領内医師たちに製薬を命じ、風邪や風疹の流行の際には困窮者に対して施薬を行った。また、島村は米の品種改良にも関心を示し、遠国より新種を取り寄せてもいる。同五年には早稲の品種「占城稲」の試作が行われた。このようにこの制産方は、主として勸農政策・社会福祉的な政策を遂行する部署であった。

以上のように、島村によって強引な財政政策がとられつつあったが、安政四年（二八五七）五月に島村が罷免されることで彼の主導による改革は終わつたが、国産政策・日田の豪商千原との関係は継続されていた。

四 安政の改革後の藩政

安政改革後 安政五年（二八五八）一月には、安政二年以来の不安定な米の収穫で年貢収納も思わしくな
の産物会所 いたところから掛米が予定されていたが、どうにか実施せずに済んだ。こうした中で、安政の
産物会所仕法は修正されて遂行された。

万延元年（二八六〇）、いままで問題であった榷実値段の取り決めが入札制度に改められた。その修正点は、
①他国の者が落札した場合は積み出しを許可する、②他国の者が落札した場合、定法通り益銀運上を産物会
所に納入すること、③その他であった。これは、従来の流通機構を認め、円滑化を図りながら、統制しよ

うとしたものであった。そして、入札に際し、願い濟高は仲津郡で五万斤（櫃持ち・板場よりそれぞれ二万五〇〇〇斤）ずつ持ち出す。入札によって値段の平均を出し、それを郡中全体の値段とした。領外の者は旅問屋を定めて、その問屋取次をもって入札させた。小倉より藩の役人が出張し、手代も立ち会った。京都・仲津郡は申し合わせて、続けて入札を行った。入札が極端に低い場合には拒否することが出来た。

米については、万延二年（一八六一、二月十九日文久と改元）に窮民救い方として米が売り出された。仲津郡では大庄屋五人と森貞右衛門に米一〇〇〇石を大橋・杵尾両蔵所に「直入」させ、「小売り米」が申しつけられた。一升につき一匁八分であったが、米価の下落で一匁六分売りした。そして、翌文久二年正月には、諸方からの米買いの者が来て抜け米が多くなったので、「抜け米」の取り締まりを嚴重にするよう命じられた。また、販売の許可がおりた米については出来るだけ積み出しを留めるように仲津郡の大庄屋中には連絡した。しかし、同年の二月には販売予定の米についてはその二割を領内の小売り米として残しておけば販売してもよいという通達が郡方役所から出た。

文久三年（一八六三）十月、制産方の廃止が通達された。さらに、慶応元年（一八六五）には産物会所の廃止が通達されたが、生蠟については御元方のもとで田野浦の問屋幸作・栄左衛門・吉右衛門の三人が取り扱うようになった。十二月になって生蠟・葛・鶏卵の大坂に積み登す場合の規定が定められた。これは、荷主が大坂に積み登す場合には御元方の添え状を貰い受け、大坂蔵屋敷の中村平三郎の改めをうけ、希望の問屋へ売り払ったのち代金を蔵屋敷に納め、受取書をもって小倉に帰り、その上で御元方より代札（藩札）を受け取るというものであった。このようにして、藩が国産政策を繰り返して実施した理由は、大坂での藩財政

の「銀繰り」(大坂での借金の調達)を円滑にすると同時に、藩札で産物を買集め、大坂に送ることによって得た金銀を藩庫に入れる方法で正貨を獲得しようとしたのである。

五 日田商人との結びつき

日田掛屋千原 万延元年(二八六〇)に万屋助九郎が二人扶持を頂戴した理由に、産物会所仕組に利益が**幸右衛門家** 上がったこと、日田表での御元方銀談が度々都合よくいったことがあげられている。

前述したように、千原家は寛政五年に幕府の掛屋を拝命したが、千原家が小倉藩・領民との関係をもちはじめたのは次のとおりである。藩に対しては文政十年(二八二七)に少額の貸金があった。次いで、小倉商人の蔵元彦六に天保期(一八三〇―一八四四)に少額の取引があった。農民に対しては天保十四年(一八四三)・弘化元年(一八四四)に上毛郡の者に各一〇〇両、嘉永元年(二八四八)に田川郡の者に一五両、同二年仲津郡内の者に一〇〇両の取引があったが、本格的になったのは嘉永五年(二八五二)に宇島の万屋との結びつくことよってである。嘉永五年(二八五二)に従来仲津藩領の小祝浦から船出していた大坂向けの日田の諸産物を小倉藩の宇島経由にし、万屋が扱うという契約が結ばれた。

そして、安政元年(二八五四)に小倉藩の「御用達」、翌年に分家の新田藩の「御用達」になった。同地には既に俵屋藤作という商人が小倉藩の御用達を務めていたが、千原家がそれに加わったことになる。これは小倉藩と幕府領の支配者である日田郡代の間で話がついての上と思われることから、慢性的な財政危機に苦